



亀山中学校 学校運営協議会 だより(No.1)

発行:学校運営協議会事務局 令和6年5月

連絡先 亀山中学校 Tel 82-0354

☆コミュニティ・スクール(学校運営協議会)が4年目スタートしました

亀山中学校コミュニティ・スクール(学校運営協議会)は、4年目を迎えます。学校運営協議会(CS)では、学校と地域や保護者が一体となって子どもたちの成長を支える学校づくりを進めていくことがねらいです。今年度も学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、一緒に子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」に取り組んでまいります。

協議会では、子どもたちがどのような課題を抱えているのか、地域でどのような子どもに育てていくのか、何を実現していくのか話し合っています。

この『亀山中学校 学校運営協議会だより』では、学校運営協議会で話し合われたことや地域と連携した教育活動の様子など発信していきます。

日ごろの学校での活動については、亀山中学校HPの『学校だより』で発信していますのでご確認ください。今年度も学校運営に皆様のご協力のほどお願いいたします。



☆第一回学校運営協議会が開催されました

今回の協議事項

- ・学校経営方針及び行動計画について
- ・今年度の活動について(CS・学校行事等)

4月30日(金)に亀山中学校にて第1回学校運営協議会が開催されました。まず、新しい委員のお二人(森さま、寺口先生)に委嘱状が交付され新体制でスタートしました。

◆令和6年度学校運営協議会委員です(15名)

会長 伊藤 正博(地域代表)

副会長 小林 智子(民生委員児童委員代表)

<委員>

田 邊 弥生(主任児童委員)

奥 村 彰(野村地区まちづくり協議会会長)

大 平 雅 章(地域代表)

三 澤 昭 彦(城北地区まちづくり協議会会長)

佐 野 健 治(夢想工房(NPO 法人 障がい者就労支援))

川 口 恭 子(学校図書館活用アドバイザー) 森 英之(PTA 代表)

大 谷 俊 應(同窓会会長)

六 角 英 彰(三重大学人文学部特任教授)

廣 島 朗(亀山高等学校校長)

東 則 尚(徳風高等学校校長)

岡 田 健 次(亀山中学校校長)

寺 口 潤(亀山中学校教諭)



< 事務局 >

西田 浩司（亀山中学校主幹教諭） 宮本 亜吏紗（亀山中学校教頭）
青木 誠子（コミュニティスクール事務員）

どうぞよろしくお願いします

今回は、校長から学校運営の基本方針や学校予算についての説明がなされました。

学校経営ビジョンの協議の中で今年度より中間テストを廃止した目的や評価方法について委員より質問がありました。

校長より子どもを第一に考えた家庭学習の充実や「ワークカレンダー」や「e ライブラリー確認テスト」の実施により計画的に学習し身に着けることがねらいであると説明がありました。

また、今年度予算については、将来子どもたちがＩＣＴ機器の扱いに慣れ使用して生活していくというＧＩＧＡスクール構想（文部省）を推進するための予算を子どもたちに必要な物、教育や授業に寄り添った予算執行に努めていくと重ねて説明がありました。

上記の内容を踏まえて委員による承認が行われました。

今年度の『学校経営ビジョン』を添付しますのでご確認ください。



☆こんな学校運営協議会にしていきたいです！

令和六年度となり、会長として2年目となりました。亀山中学校学校運営協議会の会長、伊藤正博です。今年度は、より深く学校運営に携われる様、様々なことに取り組みたいと思います。

私事ではありますが、普段は和菓子屋の店主をしており、商いをしているとよく聞く「三方良し」という商い哲学の言葉があります。「売り手良し・買い手良し・世間良し」売り手買い手だけでなく、社会に貢献してこそ良い商売であるとの言葉です。

少し形は異なりますが、教育においても同様の考えが当てはまるのではないかと思います。「学校・生徒・地域」昨今の教育環境は学校だけで完結するものではなく、地域全体で子どもたちを見守り育て、地域内外で活動できる子ども達を学校から送り出す。そんな循環を生み出せる様に全体の調和を図る事が学校運営協議会の役割だと考えます。

学校だけに負担を強いることなく、生徒一人ひとりに寄り添い、地域の皆様に信頼される「三方良し」の亀山中学校になれる様、私たち学校運営協議会委員全員で取り組んでまいります。

このたよりをお読みになった皆様が当事者という気持ちで、学校運営協議会に様々なご意見をお寄せください。

今年度もよろしくお願いします。



学校運営協議会 会長 伊藤正博

……………日々の活動は、学校だよりでお伝えしていきます……

次回 第2回学校運営協議会は、7月1日開催を予定しています。





2024年度 学校経営ビジョン

亀山市立亀山中学校
亀山中学校学校運営協議会



学校教育目標 「豊かな人間性とたくましい行動力を持った生徒の育成」
～ 人とかかわる喜びを持ち、きずなをつくる生徒へ ～

「居場所づくり」…生徒一人一人が安心して過ごすことができる「居場所」→ 教師がつくる
「きずなづくり」…主体的・協働的な活動を通して育む「きずな」→ 生徒がつくる

< めざす学校像 >

生徒のきずなと居場所のある学校
生徒の声が大切にされる学校

保護者、地域に信頼され、協働できる学校
教職員が生きがいを持って働ける学校

< めざす生徒像 >

自ら挨拶・掃除・学習をする生徒
「人」「物」「命」を大切にする生徒

向上心を持ち互いに学びあい認めあう生徒
主体的・協働的な活動を通してきずなをつくる生徒

< めざす教師像 >

「授業」と「仲間づくり」を大切にする教師
保護者や地域との連携を進める教師

生徒が安心して過ごせる居場所をつくる教師
同僚性の構築と健康の保持増進に努める教師

◎重点目標

1. 学力の向上を目指した授業改善と主体的に学ぶ生徒の育成
2. 豊かな心を持ち、命を大切にする生徒の育成
3. 生徒の自治的活動の推進と地域、保護者との連携
4. 個々を大切にしたい誰一人取り残さない教育の推進
5. チーム亀中の実践(教職員のための職場環境整備と学校経営への参画)

「誰一人取り残さない学校」を目指すという決意を礎に「魅力ある学校づくり」に取り組んできた。
「誰一人取り残さない学校」となるため、「居場所づくり」「絆づくり」を土台に、すべての生徒の進路を保障し、一人ひとりの可能性を広げる「確かな学力」の向上に取り組む。

令和4年3月策定の亀山市学校教育ビジョンを根幹とし、「可能性に挑み、人とつながり、未来を創る亀山っ子」の実現に取り組む。「亀山っ子一人ひとりの可能性を引き出そう!～「チーム亀山」でふるさとから世界へ～」のテーマのもと、「未来を拓く子どもたちの豊かな学びの実現」「地域とともにある学校づくり」を实践する。